

二塚小学校「家庭学習の手引き」

か てい がく しゅう
家庭学習のすすめ
ゆめ む
～夢に向かって～



おや こ がくしゅう じりつ がくしゅう
親子学習から自立学習へ

高岡市立二塚小学校

家庭学習7つの意義

① 授業の復習 … 学んだことは、その日のうちにすぐに復習を

学んだことを忘れず定着させるためには、繰り返し学習することが効果的です。特に、学習したことを忘れてしまわないうちに繰り返すと効果があると言われています。

その日のうちに必ず授業内容を復習し、「わかったつもり・できるつもり」を「わかった・できる」に変えましょう。



② 授業の予習 … 授業には、「めあて」や「見とおし」をもって

予習は、次の授業の内容をすべて勉強する必要はありません。授業で学習する内容を確認することが大切です。予習をすると授業でのめあてや知りたいことをはっきりさせることができます。

明日の授業の準備をしながら教科書やノートを開いて、学習する内容を確認しましょう。忘れ物もなくなり、一石二鳥です。

③ 学力の定着 … 「できる」から「自信」へ

「漢字の読み・書き」や「計算」のような学力は、確実にできるようになるために繰り返し練習することが必要です。また、小さな「できる」を積み重ねることで大きな「自信」が生まれます。

少しずつでもよいので毎日必ず練習しましょう。



④ 脳の活性化 … 「脳」にもトレーニングを

繰り返し学習することは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになるのです。脳は、鍛えれば鍛えるほどたくましくなって、いろいろなことにうまく使えるようになります。

小学生のうちからどんどん「脳」をトレーニングして、「脳力」をアップさせましょう。

⑤ 学習の習慣付け … 家庭学習を生活の一部に

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、家庭学習が生活の一部になり、習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。

毎日必ず家庭学習に取り組み、「家庭学習をするのはあたりまえ」になりましょう。

⑥ がまん強さ、根気、集中力 … 続けることで「夢をかなえる力」を

夢を実現させるためには、あきらめず、夢に向かって努力し続けることが大切です。学習以外の誘惑に打ち勝ち、毎日欠かさずコツコツと家庭学習に取り組むことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。

小さな努力を積み重ね、「夢をかなえる力」を身に付けましょう。



⑦ 家族のふれあい … 心身も頭脳もすこやかに

「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」、「勉強している横で読書をしたり、調べ物をしたりする」など、家庭学習をしているお子さんと時間を共有してください。そのことは親子のコミュニケーションやお子さんの精神の安定、すこやかな心身と頭脳の成長につながります。

家庭学習でできたことを、ぜひ確認してあげてください。

家庭学習の7つのツボ

① 毎日、決まった時間に決まった場所で必ずやる。

家庭学習の習慣化のためには、生活の中に家庭学習を組み込むとよいでしょう。そのためには、毎日学習する時間と場所を決め、決めたとおりに続けることが大切です。

習い事などがある日は、学習の時間帯や他の予定を調整するなど工夫が必要です。家族で十分話し合い、実行してください。



② 集中して学習する。

学校で学習するときは、ゲームをしたり、テレビを見たりする人はいません。おやつを食べる人もいません。家庭学習でも、テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は効果が上がりません。また、テレビの音が聞こえるような環境でも集中はできません。静かに学習できる環境をつくるのが大切です。

③ 準備を整え、最後まで勉強をやり通す。

途中で学習を中断しなくてもよいように、学習を始める前に、鉛筆をけすったり、教科書やノートをそろえたり学習の準備を整えてから勉強を始めようにします。また、子どもの集中力は長続きしません。短時間で集中して勉強することが長続きのコツです。

④ 正しい姿勢と正しい鉛筆の持ち方で勉強する。

勉強を始める前に机の上からマンガやゲームなど勉強に関係のないものを片付けましょう。そして、整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしましょう。また、正しい鉛筆の持ち方で字の大きさや形をそろえて書くことも大切です。



⑤ まずは自力で、わからないときは教科書を見たり、調べたりする。

家庭学習の目標は、「自立学習」です。まずは教科書を見ないで、自分の力で課題に取り組むようにします。もし、わからないときは、あきらめずに教科書を見たり、辞書で調べたりして最後までやり抜くことが大切です。

⑥ 子どものがんばりを認め、ほめて励ます。

学習への自信や進んで学習しようというやる気を高めるためには、学習の成果やがんばりを家族が認め、ほめたり励ましたりすることが大切です。学習の成果も気になりますが、継続して取り組んでいることをしっかりほめてあげましょう。



⑦ 規則正しい生活を送る。

生活の一部として毎日家庭学習を継続して行うためには、生活リズムを安定させることが大切です。学校でも家庭でも生き生きと学習に取り組めるよう、「早寝、早起き、朝ご飯」を基本に、生活リズムを整え、規則正しい生活をおくりましょう。

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
時間	20～30分		40～50分		1時間以上	
場所	落ち着いた場所、いつもと同じ場所、大人の目の届く場所				落ち着いた場所、いつもと同じ場所	
内容例	音読、書き取り、計算		音読、書き取り、計算 自主学習		音読、書き取り、計算 予習・復習、自主学習	

1・2年生

「親子学習」

基本的な学習習慣を身に付ける

「学び」の特徴

- ・勉強大好き！ やる気まんまん！
- ・「やったね！」「よくできたね！」「すごい!!」ほめ言葉のシャワーでやる気もりもり！
- ・家族の手助けが、家庭学習の必需品
- ・家庭学習に取り組むことで、学習の基礎づくり

「親子学習」のポイント

- 親子一緒に毎日必ず家庭学習する。
- よい姿勢ですわる。
- 正しい鉛筆の持ち方を身に付ける。
- 家庭学習は、「明日の学習準備」と「後片付け」で終わる。
- できたことや成果よりも、取り組んだことや努力したことをほめる。



3・4年生

「ひとり学習」

自ら机に向かう姿勢を身に付ける

「学び」の特徴

- ・好奇心が旺盛！ 自立心が芽生え、何でもチャレンジしたがりが家
- ・「〇〇してみたらどう」「がんばってるね」温かい助言や励ましが意欲の源
- ・自分でできることは自分でトライ
- ・手は離しても目を離さず、さりげない手助けがまだまだ必要

「ひとり学習」のポイント

- 規則正しい生活と家族の協力で学習時間と集中できる学習環境を確保する。
- 宿題以外の自主学習に積極的にチャレンジする。
- 身の回りのことと学習のつながりを考えたり、体験したりする。
- 間違ったりできなかつたりしたところは、あきらめないでできるまでやり直し、「できた」で毎日の家庭学習を終わる。



5・6年生

「自立学習」

自ら予定を立てて学習を進める

「学び」の特徴

- ・興味の対象が絞られはじめ、得意・不得意から適性の意識へ
- ・学習内容の定着に加え、中学校につながるを意識した家庭学習スタイルへ
- ・学習する意味を考え、「ほめられるから学習する」から「自分のために学習する」へ
- ・将来の夢をもつことが、学習意欲の原動力に

「自立学習」のポイント

- 学習内容だけでなく学校や家庭での役割も増えるので、学習内容と時間の予定を立てて、計画的に学習する。
- 「読み・書き・計算」に加え、「授業の予習・復習」に取り組む。
- 親として、人生の先輩として、体験を交えて子どもの夢について語り合い、学習意欲の根っこを育てる。



1・2年生「親子学習」

めあて：基本的な学習習慣を身に付ける

～ 学習を始める前に ～

- 勉強する場所の整頓をする。
- 学校からのおたよりを見せる。
- 宿題を確認する。

学習時間の目安

20～30分
(学年×10分)+10分

家庭学習のポイント！

その
1

まずは、宿題をやる。

学習の準備ができたなら、まずは宿題をしましょう。途中であきらめず、必ず最後までやりましょう。



その
2

よい姿勢と正しい鉛筆の持ち方で学習する。

よい姿勢で机に向かってすわりましょう。鉛筆を正しくもち、字の大きさをや形に注意して書きましょう。

その
3

片付けと明日の準備を忘れずにする。

勉強が終わったら、後片付けをしましょう。明日の時間割を確認し、忘れ物がないように準備をしましょう。

学習内容例

- 音読：楽しんで、すらすら読めるように練習しましょう。
「、」や「。」に気をつけて、大きな声ではっきり読みましょう。
- 漢字：書き順に気をつけて、ていねいに書きましょう。
- 計算：あわてないで正しく計算をしましょう。まちがえた問題は、必ずやり直しをしましょう。
- あのね帳：楽しかったことなど身近でおこったことを文で書きましょう。
- 読書：自分で読んだり、家の人と一緒に読んだりしましょう。

3・4年生「ひとり学習」

めあて：^{みず}自ら机に向かう姿勢を身に付ける

～ 学習を始める前に ～

- 勉強する場所の整頓^{せいとん}をする。
- 学校からのおたよりを見せる。
- 学習内容を自分で確認^{かくにん}する。

学習時間の目安

40～50分

(学年×10分)+10分

家庭学習の
ポイント！



その

1

自主勉強にもチャレンジする。

まずは宿題をしましょう。そして、自主学習にも積極^{せつきよくてき}的にチャレンジしましょう。

その

2

自分でできることは自分です。

自分で答えや教科書を見て、ていねいに答え合わせをして、○つけをしましょう。まちがったところはしっかり直しましょう。

その

3

勉強したことを家の人に見てもらおう。

勉強^{せいか}の成果(ノート、プリント、音読など)を家の人に見てもらい、確認^{かくにん}してもらいましょう。

学習内容例

- 音読：漢字の読みなどに気を付けて、声に出して正確に読みましょう。聞き手に文の意味が伝わるように、読み方などを工夫して読みましょう。
- 漢字：授業で習った漢字は、しっかり覚えましょう。漢字のへんやつくり、筆順に気をつけて書きましょう。
- 計算：計算の手順に気を付けて正しく計算をしましょう。まちがえた問題は、くり返し練習してできるようにしましょう。
- 日記：心に残ったできごとについて自分の考えや感想を付け加えて工夫して書きましょう。
- 読書：小説や伝記などいろいろなジャンルの本を読んでみましょう。わからない漢字や言葉は、辞書を使ってしらべましょう。
- その他：興味があることについて、図鑑や辞典、インターネットで調べてみましょう。

5・6年生「自立学習」

めあて：自ら予定を立てて学習を進める。

～ 学習を始める前に ～

- 勉強する場所の整頓をする。
- 学校からのおたよりを見せる。
- 取り組む学習内容を自分で決める。
- 学習時間を決める。

学習時間の目安

1時間以上

(学年×10分)+10分

家庭学習の
ポイント！



その
1

予定を立てて、予定通りに始める。

習い事などのことも考えて、自分で家庭学習の予定を立てましょう。決めた時刻には、必ず机に向かい集中して学習しましょう。

その
2

予習・復習に取り組む。

予習・復習することで、授業の見とおしがもてたり、授業内容を確認できたりします。授業での学習を充実させるため、毎日必ず予習・復習しましょう。

その
3

夢や目標に向かって学習する。

小学校での学習は、将来、夢にチャレンジするための基礎となるとても大切なものです。夢や目標をもって大きなめあてに向かって学習しましょう。

学習内容例

- 音読：情景を思い浮かべながら感情をこめて読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
- 漢字：漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。習った漢字や熟語を使って単文を作りましょう。
- 視写：教科書や新聞の記事など、字数を決めて視写に挑戦しましょう。
- 計算：「はやく・正確に」を目標に、プリントやドリルを使ってくり返し練習しましょう。
- 読書：いろいろなジャンルの本を読みましょう。読んだ本の感想や紹介文を書きましょう。
- その他：教科書を読んだり、まとめノートを作ったり、「予習・復習」をしましょう。「予習・復習」で見つけたわからないことや疑問は、先生に質問して解決しましょう。

家庭学習

Q & A

Q

自主学習って何をすればいいの?!

A

自主学習は…

宿題など先生に言われたことをするのではなく、**自分から自分のために**学習する内容を考えて工夫してする学習です。

自主学習の 7つのポイント

- 1 宿題以外の学習メニュー(内容・順序・時間)を自分で考える。
- 2 自主学習ノートを作る。
- 3 好きなことや得意なことだけでなく、苦手なことにもチャレンジする。
- 4 自信がもてるまで何度も繰り返してやってみる。
- 5 少しずつでも毎日コツコツ続ける。
- 6 調べ学習など、興味があることをくわしく学習する。
- 7 毎週日曜日に、自主学習ノートを振り返り、自分の学習を振り返る。

Q

家庭学習はどれだけすればいいの?!

A

家庭学習には…

目標にする時間は、(学年×10分)+10分です。しかし、家庭学習には、決まった時間はありません。大切なのは、「毎日必ずする」ことです。



勉強時間0分の日があると…

勉強しない日があると、なかなか学力は定着しません。毎日家庭学習を続けることが、学力を定着させる近道です。そして、毎日続けることで学力が定着するだけでなく、「がまん強さ」「根気」「集中力」も身に付けることができます。



わずかプラス10分の努力で…

小さながんばりも積み重ねると、1年間でおよそ60時間、小学校6年間でおよそ360時間の家庭学習時間がうまれます。これは、授業時間に置きかえるとおよそ480時間にもなり、約半年分の授業時間に当たります。わずかの努力が大きな成果につながります。